

「東日本大震災」対策 news NO.26

2011年4月12日(火)

生協連震災特設 URL <http://cwu.jp/action-cms/shuto/>

全国生協労働組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9

TEL 03-3408-0067 <http://cwu.jp/>

FAX03-3408-8955 QYG03057@nifty.ne.jp

日本原水協主催の原発シンポに300人 原発問題への関心の高さ反映

東日本大震災・福島原発事故から1カ月が経った4月11日、日本原水協は平和と労働センター2階ホールで特別シンポジウム「原発・核兵器私たちの未来」を開催、遠方からも含め300人を超える参加がありました。

開始15分前からほぼ満席となり、250部用意した資料も3回増刷、座り込み用の簡易イスを出しても間に合わず、詰めかけた参加者が階段まであふれ出る盛況ぶりでこの問題への関心の高さが示されました。

福島県南相馬市で農家を営む三浦広志さんが特別発言を行い、吉井英勝衆議院議員、野口邦和先生がそれぞれ「政府・東京電力の対応の問題点と今後の課題」、「放射線防護学の観点から、放射線が私たちにもたらす影響」というテーマで話しました。高草木博代表理事が司会を務めました。会場からは、写真家の森住卓さんが現地取材で見た生々しい状況を発言しました。



会場で呼びかけた救援募金には、61,303円が寄せられました。ご協力に感謝します。

(日本原水協ファックスニュースより転載)

なお、このシンポには書記局より渡邊書記次長が参加しました。以下、参加した渡邊書記次長の感想です。

【原発被害は天災ではなく人災】

4月11日、日本原水協主催のシンポジウム「原発・核兵器 私たちの未来」を通してはっきりしたことは、地震と津波は天災、しかし、原発被害は人災だということです。一つは、政府も電力会社も「原発の安全神話」を前提にしてきたために、原発の防災対策が不十分であったこと。もう一つは、地震発生後に外部電源が停止し、深刻な事態が予測されたにも関わらず、政府も電力会社も十分な情報公開をせず、初動に遅れが出たことです。

東電は金融機関から2兆円の融資を受け、事故への対応などに当てますが、この中には被災者への補償は入っていません。被災者への補償、地域や日本の経済の損失は、数兆円から数十兆円ともいわれています。「原発はコストが安い、安全」という主張は、もう通らないということは明らかです。ここまで被害を拡大させた電力会社と、政府の責任は重大であり、一日も早く事故を終息させること、被災者への補償が求められます。(渡邊一博)

これまでの募金総額 3,765,846円

引き続き、募金へのご協力をお願いします

ボランティア支援で奮闘 東海地連若井書記長と生協しずおか労組成瀬委員長



今日は、石巻まで移動して、床上浸水の被害地域に救援物資のお届けをしてきました。避難所は、行政の目が届き、物質も供給されますが、帰宅している家庭は、まだ生活物資の確保が困難な状況です。そうした中、救援物資の配布は大変喜ばれました。街の至るところに、瓦礫とゴミの山。石巻市の100年分になるとの事で、復興にむけその処理をどうするかなど、自治体だけではとても対応出来ない課題が山積。国にしっかり対応させることが不可欠だと感じました。明日も石巻で物資供給をする予定です。

みやぎ生協店舗運営部発行の「感謝の声」より みやぎ生協の職員を大きく励ましています

～有難うございました～

3月12日、あの地震の翌日、台原店で買い物をさせていただきました。あの時点で家には調理なしで食べられるものはあまりなく、特に離乳食中の子供に至っては食料は皆無の状態でした。ドン・キホーテに行ってみましたが既に販売終了で途方にくれていたところ、生協の買い物袋をもった方が歩いてくるのを見て藁にもすがる思いで台原店に向かいました。着いたときには大行列で、その最後尾に並びましたが、一人10個の個数制限のおかげで売り切れることも無く無事ベビーフードと子供たちのおやつを購入することができました。均一価格だったため清算も早く、行列の人数の割りには買い物できるまでにさほど時間はかかりませんでした。その機転もすばらしかったと思います。あの状況でお店を開いて下さった店長さんをはじめ、出勤して下さったスタッフの皆さんに心からお礼を申し上げます。本当に有難うございました。(遅くなって申し訳ありません。)

(台原店)

震災2日後のことでした。石巻の医療関係の施設で、孤立してしまったわたし達はどうして良いか分からずにいましたが、「なんとかしなくてはいけない」と1台の車を走らせました。どの店も開いておらず、ラジオで生協明石台店が開いているという情報を聞き、何とかたどり着きました。事情を話すと店長はじめ職員の皆さんが商品を提供してくれました。ここまで来て本当に良かった。と嬉しくなりました。

(明石台店)

●富山県生活協同組合連合会の ふくしま支援活動報告書より。

<4/8～10まで支援頂きました。>

- ・津波による甚大な被害の現場に行って、今回の地震や津波による被害の実態をより深く知ることが出来た。
- ・富山県生協連の支援・応援はコープふくしまの方々には微々たるものかもしれませんが支援・応援の気持ちが少しでも伝えることができたと思う。今後も支援・応援したい。
- ・コープふくしまの方々、一緒に支援活動に参加しておられた生協の方々を見て「民間企業ではなく生協だから出来ている。生協はひとつ。」を強く感じる事ができた。協同の精神をあらためて強く意識することとなった
- ・「復興は長い道のりになると思われませんが、皆様方の今なされている活躍と全国の支援・応援によって必ずや達成できるものと確信できました。」

ともに頑張りましょう。頑張りよう福島。

頑張りよう東北。頑張りよう日本。

ボランティア募集中

所定の用紙で生協労連まで

コープふくしま大震災対策ニュース NO.22 より転載